

The Record

vol.622

Music enables communication to go beyond languages. This is the reason why some emotions and impressions can be conveyed only through music. Recorded media shoulder the most important role as a vehicle to convey such emotional impressions to people. Despite the changes in the form of music carriers from analog media such as LPs to digital media, its role remains unchanged.

The Recording Industry Association of Japan (RIAJ) contributes toward the healthy development of Japanese culture via various activities including the spread of recorded media and the enlightenment of copyright consciousness.

国立国会図書館 SP 盤の歴史的音源を公開

横浜国立大学寄付講座シラバス「コンテンツビジネスと法」

著作権法第 30 条 1 項 3 号読上げコンテスト結果報告

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



Contents

Monthly News Digest	1
特集	
国立国会図書館 SP 盤の 歴史的音源を公開.....	3
特報	
横浜国立大学寄附講座シラバス 「コンテンツビジネスと法」.....	7
著作権法第 30 条 1 項 3 号 読上げコンテスト結果報告	8
PICK UP	9
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

7/7

音楽ファイルの 不正アップロードユーザー 11名の情報開示請求を実施

7月7日、当協会会員のレコード会社10社は、ファイル交換ソフトを利用してインターネット上で音楽ファイルを不正にアップロード（公開）しているユーザー11名の氏名等の開示を求め、当該送信のためにインターネットへの接続を提供するインターネットサービスプロバイダ（ISP）2社を被告とする訴訟を東京地方裁判所に提起した。

今回、訴訟提起に至ったのは、昨年8月から12月にかけて前記ISP2社に対して、「プロバイダ責任制限法」第4条第1項に基づき、前記ユーザー11名が市販音楽CDの音源をファイル共有ソフトを利用して許諾なくアップロード（公開）している行為が、会員レコード会社各社の著作隣接権（送信可能化権）を侵害しているとして、ユーザーの氏名、住所等の情報（発信者情報）の開示を求めたが、ISP側が裁判所の判断によらずに発信者情報を開示することは控えるとしたことによるものである。

当協会は「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会（CCIF）」に昨年4月から参加し、Winnyを利用して音楽ファイルなどをアップロードしているアップローダーに対して、プロバイダを通じて注意喚起するメールの送信を行っており、これまでに2,300通以上のメール送信の依頼を行っている。

7/25

第36回RIAJセミナー開催

7月25日、当協会会議室において、第36回RIAJセミナーが開催された。今回のセミナーは、三上安雄弁護士を講師に招き、会員社人事担当者、法務担当者を対象として「近時の人事労務における留意点について」をテーマに、メンタルヘルス問題、問題社員への対応、定年後再雇用問題点について講義が行われた。



7/27

東北鉄道協会来会

7月27日、東北鉄道協会の澤田長二郎会長、三澤眞一専務理事、国土交通省東北運輸局の岸谷克己鉄道部長の3名が当協会を訪問し、「がんばろう！東北 ローカル線復興支援キャンペーン」イベント協賛支援に対する感謝の意を表された。

同イベントは、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた東北ローカル線の復興支援ならびに沿線の被災者の方々への慰問・激励という思いを込め、東北のローカル鉄道事業者やサポーターズクラブ等の連携により実現されたものである。6月28日に中泊町パルナスおよび津軽鉄道列車内にて大石まどかさん、伍代夏子さん、城之内早



苗さん、杉良太郎さんらが、また6月29日には、三陸鉄道宮古駅および宮古駅前広場にて伍代夏子さん、清水宏保さん、杉良太郎さん、瀬川瑛子さん、山本譲二さんらが、1日駅長やミニコンサートで多くの被災者を励ました。

8/8

「動画サイトの利用実態調査検討委員会」報告書説明会開催

8月8日、当協会会議室において、「動画サイトの利用実態調査検討委員会」報告書説明会が開催された。

本誌8月号での特集記事にて掲載のとおり、同報告書は、東京大学の濱野保樹教授を座長として本年4月に設置された「動画サイトの利用実態調査検討委員会」にて調査実施、および内容検証が行われたものである。

今回の説明会は、マスコミを対象として開催され、当日は濱野座長の挨拶の後、調査を担当した三菱総合研究所の伊藤陽介研究員より報告書の概要説明が行われた。

なお、報告書（PDFファイル）は、下記URLよりダウンロード可能である。

<http://www.riaj.or.jp/release/2011/pr110808.html>

8/19

動画ダウンロード支援サイト「TUBEFIRE」運営会社に対してサービス停止を求める訴訟提起

当協会会員社等レコード会社30社および音楽出版社1社は、8月19日

に、YouTubeからの動画ダウンロード支援サイト「TUBEFIRE」を運営する「(株)ミュージックゲート」(東京都世田谷区、代表者 穂口雄右)に対して、当協会会員レコード会社等が権利を有するビデオクリップなどの動画および音源のダウンロードサービスの停止ならびに損害賠償金約2億3千万円を求める訴訟を東京地方裁判所に提起した。

(株)ミュージックゲートは、YouTubeにアップロードされている動画などを、ユーザーが自らのパソコンなどにダウンロードすることを可能とするサービスを提供しているサイト「TUBEFIRE」の運営を2007年から開始した。このサービスを提供する際、同社が管理するサーバーに当協会会員レコード会社等が権利を有する動画などのファイルを権利者の許諾を得ることなく複製して保存し送信可能な状態としており、公衆送信権(送信可能化権)および複製権を侵害したものととして今回の訴訟に至った。

国立国会図書館 SP 盤の歴史的音源を公開

「知識は我らを豊かにする」

国立国会図書館の長尾真館長が掲げる言葉である。国立国会図書館の膨大な所蔵資料は、我々の知識の宝庫であり、同館の「電子図書館構想」に基づくこれら資料の大規模なデジタル・アーカイブの構築は、昨今の国内外のデジタル情報環境の動向からも、ますます重要な役割を担うこととなるであろう。

折しも本年5月、国立国会図書館は歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC) がデジタル化した SP 盤音源の一部公開を開始した。

今回の特集では、国立国会図書館のデジタル化資料と併せて、HiRAC 代表幹事のインタビューによる SP 盤の魅力ならびに SP 音源のデジタル・アーカイブについて紹介する。

国立国会図書館における SP 盤音源公開に際して、国立国会図書館関西館電子図書館課の池田功一係長に、ご寄稿をいただいた。

国立国会図書館関西館電子図書館課研究企画係長
池田 功一氏

国立国会図書館では、HiRAC がデジタル化した「歴史的音源」約 2,500 点の公開を本年 5 月 31 日に開始した。また、6 月 27 日にはさらに約 1 万 8 千点を追加公開している (図 1)。国立国会図書館で収集・集積されるさまざまなデジタル化資料は、国立国会図書館ホームページで検索・閲覧することが可能である。

○ 歴史的音源とは

HiRAC は、歴史的・文化的資産である初期のレコード (SP 盤) および原盤の劣化、散逸などによる音源の喪失を防ぐことを目的として、日本放送協会、一般社団法人日本音楽著作権協会、社団法人日本芸能実演家団体協議会、公益財団法人日本伝統文化振興財団、NPO 法人映像産業振興機構および一般社団法人日本レコード協会の 6 団体が参加し、平成 19 年に設立された。「歴史的音源」とは、1900 年初頭から 1950 年頃までに国内で製造された SP 盤等を HiRAC がデジタル化した音源であり、6 つのレーベル (日本放送協会、ビクターエンタテインメント、EMI ミュージック・ジャパン、日本コロムビア、キングレコード、テイチクエンタテインメント) による、落語、長唄、管弦楽、



図 1：歴史的音源トップページ (<http://dl.ndl.go.jp/#music>)

歌劇、清元、浪花節、歌謡曲、講演、ジャズなど多様な内容が含まれる。

○ 受入と提供準備

国立国会図書館では、歴史的音源を提供するにあたり、利用や契約の条件について HiRAC と協議を重ねてきた。その結果、原盤の音源を保存して広く国民に公開することを目的として、図書館資料購入費に予算を計上し、平成 21 年度から 4 か年度計画でデジタル化された音源が納入される運びとなった。平成

21年11月から納品が開始され、平成24年度末までに約5万点が順次納品される予定である。

また、国立国会図書館では、納品される音源について、データ形式やメタデータ（音源に関するデータ）の項目などについてもHIRACと調整を行ってきた。例えば、タイトルや収録時間、出版年といったメタデータ項目について、どのような項目を設けるべきか詳細な検討を行った。その結果、メタデータには音源に関する多様なデータを盛り込むこととなり、最大で約70項目にも及ぶ。また、歴史的音源を保存・提供するためのシステムを開発し、公開に向けた準備を進めてきた。タイトル一覧から音源を一覧できることはもちろん、キーワードや著者（作詞者・作曲者など）、レーベルなどからの検索も可能である。

○ 提供方法と形式

これらの音源は、一部を除き国立国会図書館の施設内のPCでのみ提供しているが、公立図書館でも利用できるよう、現在、配信の試行提供準備を進めているところである。また、著作権および著作権隣接権の保護期間満了が確認された音源（現在は約500点）については、国立国会図書館ホームページでも提供している。ホームページから利用できるものには、例えば、政治家・尾崎行雄の演説『普通選挙について』（コロムビア、1928年）や箏曲家・宮城道雄の『春の海』（ビクター、1930年）などがある。

提供形式については、納品された歴史的音源のデータ形式は非圧縮のWAVファイル形式であり、このままの形式で提供するにはデータのサイズが大き過ぎるため、音声をMP3ファイル形式に変換・圧縮した上でFLVファイルに格納し、ストリーミング方式で提供している。こうすることにより、一定のPC・ブラウザ環境を満たせば、特別な再生ソフトウェアを必要とせず、音量の調整や指定位置からの再生などを画面上で行えるようにしている（図2）。

○ 国立国会図書館のデジタル化資料

国立国会図書館では、歴史的音源以外にも様々なデジタル化資料を提供している。ここでその概要を紹介したい。国立国会図書館は、国民共有の文化的資産として、所蔵資料を長期的に保存し、後世に伝える役割を担っている。そこで、利用と保存の両立を図るため、所蔵資料のデジタル化を行い、原資料に代えてデジタルデータを提供している。

これまでの国立国会図書館のデジタル化に関する予算は、年間1～2億円程度であり、主に明治、大正期刊行図書や古典籍のデジタル化を行ってきたが、平成21年度補正予算でデジタル化経費として127億円が計上され、大規模なデジタル化に取り組むこととなった。また、平成21年6月には著作権法が

改正され、国立国会図書館においては、資料の滅失、損傷、汚損を避けるため、原資料の代わりに提供する目的で著作権者の許諾を得ることなくデジタル化することが可能となった。このことにより、平成21年度から22年度までに和図書（1968年以前刊行のもの）、和雑誌（2000年以前刊行（一部タイトルを除く）のもの）、博士論文（1991年度から2000年度受入れのもの）、古典籍などのデジタル化を行った。これらの資料群については国立国会図書館所蔵資料の1/4のデジタル化が行えたことになる（図3）。現在、成果物のデジタル化画像について、システムへの登録を順次行っているところである。



図2：各音源の再生画面（画面右側で再生等の各種操作が可能）

資料種別	所蔵数 (A)	デジタル化実施済 (B)	デジタル化未実施 (A-B)	実施割合 (B/A)
古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
和図書	411万冊	90万冊	321万冊	1/5
和雑誌	436万冊	114万冊	322万冊	1/4
博士論文	39万冊	14万冊	25万冊	1/3
合計	915万冊	225万冊	690万冊	1/4

図3：デジタル化の成果



図4：古典籍資料（貴重書等）（<http://dl.ndl.go.jp/#classic>）

主に明治期～昭和前期刊行図書のうち著作権処理が完了した資料や古典籍については、国立国会図書館ホームページの「デジタル化資料（貴重書等）」や「近代デジタルライブラリー」などで見ることができる（図4、図5）。

○ さいごに

歴史的音源については、その公開以来、「想像以上によい音で驚いた」「貴重なアーカイブですばらしい取り組み」「今後の追加公開が待ち遠しい」などの反響をいただいております。公開以来1日あたり平均350件近いアクセスがある。利用者からの期待の声に応え、歴史的にも文化的にも貴重な音源をより一層充実させるため、今後追加で納入される音源についても、準備が整ったものから、公開を着々と進めていきたい。



図5：近代デジタルライブラリー（<http://kindai.ndl.go.jp/>）

HiRAC 代表幹事として、歴史的音源のデジタル・アーカイブを陣頭に立って推進してきた当協会の佐藤修顧問より、このたびの音源公開を機にコメントをいただいた。

音楽人の熱意と努力の成果を、誇りに思う

歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC) 代表幹事
一般社団法人 日本レコード協会 顧問
佐藤 修氏



「音による文化史」をしっかりと残すために

歴史的音源のデジタル・アーカイブという事業の意義は、「文化を守り、次世代へ受け継いでいく」というところにあります。SP音盤というのは、基本的に「音による文化史」なんです。レコード自体、本来“記録”、“記録物”という意味ですね。そもそもエジソンが、最初のレコードとなる蝋管レコードを作ったのも、ソフト・ビジネスをやろうとしていたわけじゃありません。音声の記録を残す媒体、まあ今で言うテープ・レコーダーやボイス・レコーダーのような位置づけで発明されたわけです。

かけがえのない記録物だった SP 盤は、草創期は大変高額な商品でした。その昔、宝石・貴金属と一緒に売られていたぐらいで、かつてのレコード店は文化の伝道師的な扱いでステイタ

スが高く、資産家のお宅に正門から迎えられるような存在でした。SP 盤は当初、なかなか庶民の手に入るものではありませんから、音楽を楽しむというのも今と違い、大変なことでした。放送局ができてからはラジオで聴くようになったと思いますが、それ以外では実演ですね。実演といってもレコード店の店頭にみかん箱を置いて、そこに歌手が立って歌うようなものだったようです。そういう背景を考え併せても、SP 盤は文化資料的な価値が高いと思います。

さらに、浪曲のような純邦楽や歌劇、唱歌などの幅広いジャンルをカバーしつつ、歴史の証人と呼ぶべき、時代を象徴する演説なども、SP 盤に収められてきました。たとえば、1945年の太平洋戦争終戦時に放送された昭和天皇の玉音放送が有名です。こういうものの価値は、資産価値として値段をつけられ

るようなものじゃない。たとえ今、活用されておらず無価値に見えても、後になってその価値の重さがあることもあります。SP盤の音源は、後世に評価を受ける文化的な資料という側面が非常に強い。価値のないものとして処分されてしまったら、後で価値を認められても、取り返しがつきません。ですからまず、きちんと残すことが大事です。私自身、父が聴いていたテノール歌手の藤原義江や童謡のSP盤にいろいろな思い出がありますが、これらの音源をアーカイブして残すことにより、往時の大衆文化を音楽で辿っていくことが可能になると思います。

レコード産業は100年という歴史ある産業で、今までこうした音源をしっかりと残す方向で努力してきました。レコード各社がわざわざ倉庫を確保して、昔からの膨大な音源を残してきました。しかし、ビジネスという側面で考えると、やはり新しい音楽を創造して、どんどん未来へ歩いていこうというのが世の常です。こういう貴重な資料を持ち続けるのも大変な負担になりますし、劣化する問題もある。散逸の方向へと向くのは、ある意味、避けられないところでしょう。しかし、ここで立ち止まって、貴重な文化を何とか未来へ受け継いでいく取り組みはできないだろうか、という気運が盛り上がった。音楽に携わる人間としての責任感が、業界人の中にあつたんだろうと思います。それが結実し、歴史的音源のデジタル・アーカイブを進める組織としてHiRACができたわけです。HiRACとしては何よりもまず、貴重な音源で埋もれてしまっていたものを、残すことに集中して取り組みを進めてきました。

HiRACが発足して4年経ち、このたびHiRACで歴史的音源のデジタル・アーカイブの第一目標として掲げた約50,000点のうち、半分にあたる約25,000点のデジタル化が完了し、国立国会図書館への納品を完了することができました。さらに今年の5月には、このうちの約2,500点を皮切りに国立国会図書館での公開が始まり、現在では約20,000点が公開されています。おかげさまで順調に作業が進み、成果が出てきたところであり、関係者の方々の、集中的な取り組みに感謝しています。



タイムリーだったデジタル・アーカイブへの取り組み

デジタル・アーカイブにまつわる大変さというのは、まず音源の保存状態がまちまちのところ。残っている盤が反っていたり、波打っていたりするケースも多い。それをデジタルに落とし込む作業はかなり大変なことで、専門スタッフの技術面の努力は並大抵では



ありません。一方、音源そのものだけではなく、メタデータを記録することにも困難があります。資料がぼろぼろになって読み取れなかったり、純邦楽で代々襲名している場合、初代なのか二代目なのかが不明だったり、名前に当て字が使われていたり。それだけではなく、たとえばメインの実演家以外の伴奏者の権利確認などもやらなければならない。その確認と管理には大変な労力が必要とされます。HiRACが当協会だけではなく、関連諸団体の参画を得て設立されていることが、ここで生きてきます。また昔の状況を知る人も高齢化してきており、時機を逸してはならないところまでできています。どうしても不明な音源もなかにはあり、次の段階では、こういった音源をどう取り扱うかも問題になりますが、多少不明な部分があっても歴史の一部として残すことが大切だと考えています。

先にも触れましたが、日本人が培ってきた音の文化を残そうという思いは、音楽業界には昔から確固としてありました。ただ今まではなかなか実現の方向へいけなかったのですが、デジタル技術の進展という環境が整い、さらに国立国会図書館という力強いパートナーを得て、一気にものごとが進みました。まさに絶妙のタイミングでした。このように業界全体をあげて、文化をしっかりと残していく事業は世界の中でもなかなか見当たらない、非常に貴重な取り組みです。日本の音楽産業に携わる皆様の理解と努力により、この事業に着手でき、ここまでの成果を成し遂げることができました。そのことを、私は大変誇りに思います。(談)

横浜国立大学寄付講座シラバス「コンテンツビジネスと法」

当協会は、横浜国立大学において「平成 23 年度一般社団法人日本レコード協会寄付講座」を開講する。

当協会の寄付講座は、次世代を担う学生のコンテンツビジネスに対する理解を深め、知的財産を尊重する意識を高めることを目的とするもので、1992 年より合わせて五大学に講座の寄付を実施している。

今年度寄付講座は、横浜国立大学経済学部 (<http://www.ynu.ac.jp/academics/faculty/economics/index.html>) に設置され、「コンテンツビジネスと法」をテーマに、3 年生ならびに 4 年生を対象として、半期で展開される。音楽産業をはじめとするコンテンツビジネスの概要およびそれを支える法制度（著作権）などについて実例を踏まえながら、講義形式で授業を進行していく。

今期の主な講座内容は以下のとおり。

講義タイトル	講師所属	講師役職	講師（敬称略）
オリエンテーション	横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科	教授	川瀬 真
著作権制度の概要	横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科	教授	川瀬 真
音楽ビジネス	一般社団法人日本レコード協会	会長	北川直樹
音楽配信ビジネス	(株) レコチョク	代表執行役社長	加藤裕一
クリエイターからみた音楽ビジネス	演奏家権利処理合同機構 Music Peoples Nest	代表幹事	椎名和夫
音楽出版ビジネス	一般社団法人日本音楽出版社協会	会長	谷口 元
放送ビジネス	立教大学社会学部メディア社会学科	准教授	砂川浩慶
映画ビジネス	松竹(株) 経営情報企画部経営情報企画室	マネージャー	小林敬宜
出版ビジネス	(株) 講談社	取締役	入江祥雄
ヒットソングができるまで	ユニバーサル ミュージック合同会社	CEO 兼社長	小池一彦
チャートビジネス	オリコン(株)	代表取締役社長	小池 恒
キャラクタービジネス	(株) 小学館キャラクター事業センター	センター長	久保雅一
アニメと音楽のコラボレーション	(株) アニプレックス	代表取締役	夏目公一朗
日本のコンテンツビジネス戦略	経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課	課長	伊吹英明
コンテンツをめぐる紛争	染井・前田・中川法律事務所	弁護士	前田哲男

日本レコード協会寄付講座

当協会は、創立 50 周年事業の一環として、1992 年、大学への寄付講座を開始した。これまでの実施内容は以下のとおり。

- 青山学院大学 1992 年～ 2002 年「レコードと法」ほか 担当教員：半田正夫教授
- 早稲田大学 1992 年～ 1994 年「著作権法と技術メディアの発展」ほか 担当教員：土井輝生教授
2004 年～ 2007 年「コンテンツビジネスと著作権」 担当教員：鎌田薫教授、高林龍教授
- 慶応大学 2007 年～ 2009 年「クリエイティブ産業研究 I・II」 担当教員：美山良夫教授
- 立教大学 2008 年～ 2010 年「音楽をめぐるビジネスと法」 担当教員：砂川浩慶准教授

著作権法第 30 条 1 項 3 号読上げコンテスト結果報告

当協会では、5月24日より展開していた「著作権法第30条1項3号読上げコンテスト」の最優秀者を発表した。

同コンテストは、昨年12月から展開している著作権啓発キャンペーン「LOVE MUSIC」の一環として、2010年1月に施行された改正著作権法の30条1項3号「違法配信からの音楽・映像のダウンロード違法化」の周知をはかり、違法な音楽配信の利用減少を目的として企画されたものである。

一般の皆さまを対象に、著作権法30条1項3号をアニメキャラクター風や実況中継アナウンサー風など個性豊かに読上げていただき、その映像を6月24日まで募集していたが、当協会審査委員会による第一次選定にて「最も印象に残る」6名の選出を行い、その後6名の映像を同サイト上に公開の上、この度、一般投票で最優秀者が決定した。

最優秀者の読上げ映像は、当協会ウェブサイトにおいて継続して公開されるほか、(株)レコチョクの協力によりご自身の声を無料「着信ボイス」として配信する予定である。



キャンペーン特設サイト URL
http://www.riaj.or.jp/lovemusic_cpn/



最優秀者 RaGmy さん

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

「第1回社会とつながる音楽・教育研究会」を実施

7月22日、千葉大学教育学部の藤川大祐教授が理事長を務める NPO 法人企業教育研究会（ACE）主催、当協会協力のもと、「第1回社会とつながる音楽・教育研究会」が行われた。

経緯と目的

以前より ACE は（株）ソニー・ミュージックエンタテインメント（SME）と「出張授業」を行うなど、企業による教育貢献事業を支援している（出張授業の様子は「THE RECORD」2010年7月号に掲載）。今回の研究会では、音楽産業と学校教育との連携を強めていくという ACE の取り組みに当協会が賛同し、「社会とつながる音楽教育の授業づくり」をテーマとする勉強会を開催した。

第1回の今回は音楽制作の現場を知るため、ソニー・ミュージックスタジオ見学、および「ポピュラー音楽がどのようにつくられているのか」というテーマでの講演が行われた。



参加者の皆さん

ソニー・ミュージックスタジオ見学

ソニー・ミュージックスタジオ見学は ACE の呼びかけにより、教育学部在籍の大学生や現役教師を中心に 15 名ほどの参加者で行われた。

SME の松尾順二レコーディングエンジニアによるレコーディングスタジオ、およびレコーディング手順に関する説明に続いて、マスタリングスタジオでは同鈴木浩二マスタリングエンジニアも加わり、一つの作品を完成させるまでのプロセスを学んだ。参加者からは「左右の音の出方に違いはあるのか」「レコーディングブースでの音の反響の違い」「アルバムの曲順はどのように決めているのか」など、活発な質問が飛び交った。その後機材倉庫にて、希少なマイクやケーブル等の機材の数々を見学するなどして、スタジオ見学は終了した。



レコーディングエンジニアの松尾順二氏

講演「ポピュラー音楽がどのようにつくられているのか」

スタジオ見学後、会議室に移動し SME の河合誠一マイケル SD グループ副本部長 兼 CP グループ CP ワークス チーフプロデューサーによる講演「ポピュラー音楽がどのようにつくられているのか」が行われた。参加者はスタジオ見学と同じく ACE の呼びかけで集まった約 30 名である。

河合氏は自らの幼少時代からの音楽経験や SME 入社後の音楽制作経験を振り返りながら、「音楽の授業を通して、どんなジャンルのもんでも構わないので本物の作品に子供たちを触れさせて欲しい」と述べられた。参加者からは、「プロのミュージシャンから音楽の授業の思い出や良かった点を聞くことができ参考になった」「歌詞のフレーズ一つ一つにこだわりを持って作品を作っていることなど、音楽制作の裏側を知ることができて面白かった」などの感想が寄せられた。



右：河合誠一マイケル氏
左：藤川大祐 ACE 理事長



河合誠一マイケル氏

NPO 法人企業教育研究会（ACE） <http://ace-npo.org/>

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ



「ミュージックジャケットギャラリー2011」開催

「ミュージックジャケットギャラリー2011 (MJG2011)」の開催が決定した。

同展は、ミュージックジャケット (CD、LP、DVD 等) の魅力を、音楽ファンをはじめとする多くの方々に伝え、ジャケットアートワーク文化の育成・発展および音楽業界活性化のサポートを目的とする展示会である。

2007年より全国巡回を行っており、今年で5年目を迎えるが、CDパッケージやLPジャケット等300点以上の現物を展示するジャケットアート展としては全国唯一の開催となる。トピックスの一つとして、本年より開始する「ミュージック・ジャケット大賞2011」公式ギャラリーとして審査ノミネート作品を展示し、一般投票を受け付ける。

Music
Jacket
Gallery
2011

〔ミュージックジャケットギャラリー2011 (MGJ2011) 開催概要〕

■ 日程・会場

(大阪) 日程：2011年9月23日(金・祝)～27日(火)
時間：11:00～20:00
場所：梅田「HEP HALL(HEP FIVE 8F)」

(東京) 日程：2011年10月12日(水)～16日(日)
時間：10:00～20:00(最終日は19:00終了)
場所：新宿「新宿高島屋1F JR口特設会場」

※いずれの会場も、入場無料

■ 内容 (テーマ) 音楽の魅力を彩るジャケットデザインの世界

1. 「ミュージック・ジャケット大賞2011」審査作品公式ギャラリー
2. 洋楽ギミックLPジャケット展示／洋楽オリジナルLP & 紙ジャケット比較展示
3. 時代を飾った昭和歌謡曲ドーナツ盤コレクション
4. CD JACKET DESIGN in JAPAN : CDアートワークへの挑戦

主催：MJG2011 実行委員会

(株) 一丸堂印刷所、(株) 金羊社、(株) ジャパン・スリーブ、東洋化成 (株) (50音順)

後援：一般社団法人日本レコード協会

共催：新宿高島屋、HEP FIVE

MJG2011 公式ホームページ <http://www.epa-mjg.com>

PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

「ミュージック・ジャケット大賞 2011」開催

ミュージック・ジャケット大賞実行委員会は、音楽パッケージ作品の魅力をより多くのユーザーの方々に訴求し、また、音楽ジャケット文化の継承・発展を目的に、アーティスト、ジャケットデザイナーおよび制作者のアートを顕彰する「ミュージック・ジャケット大賞」を、本年より制定した。

「ミュージック・ジャケット大賞 2011」は、2010年4月1日から2011年3月31日の間に発売の国内で制作された音楽CD作品を対象に、エントリー作品の中から、有識者による審査と一般の音楽ファンによる投票により、当該年度において最も秀逸なジャケット（パッケージ）デザインと認められた作品を顕彰する。

既に、作品エントリーならびに一次審査における「通常盤」50作品、「限定盤」15作品の選出が終了しており、今後は一般投票を含む二次審査を経て11月下旬に大賞、準大賞および特別賞を発表する。



当協会正会員社デザイン部門の社員による一次審査風景

「ミュージック・ジャケット大賞 2011」

主催：ミュージック・ジャケット大賞実行委員会

対象作品：2010年4月1日～2011年3月31日の間に RIAJ 会員社から発売された国内制作の音楽 CD 作品（洋楽を含む）

受賞作品発表：2011年11月下旬（予定）

PICK UP

プラシド・ドミンゴ氏、IFPI 会長に就任

「三大テノール」の一人として広く知られるプラシド・ドミンゴ氏が、7月27日、IFPI（国際レコード産業連盟）の新会長に就任した。



2011年第2四半期（4月～6月）および上半期音楽配信売上実績について

2011年第2四半期は、数量で前年同期比85%の9,425万ダウンロード、金額で前年同期比87%の186億3,700万円となった。内訳では、インターネットダウンロードが、金額で前年比133%の31億600万円、モバイルダウンロードが、前年比81%の152億3,100万円、サブスクリプション等その他が、3億100万円となっている。

この結果、2011年上半期の累計では、数量で前年比88%の1億9,602万ダウンロード、金額で前年比87%の379億7,400万円となった。

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2011年4月～2011年6月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネットダウンロード	シングルトラック	12,956	127%	1,914	131%
	アルバム	870	132%	1,034	139%
	小計（オーディオダウンロード分）	13,826	127%	2,949	133%
	音楽ビデオ	620	131%	157	117%
	その他	1	-	1	-
	合計	14,448	127%	3,106	133%
モバイル	Ringtunes	23,075	66%	2,294	64%
	Ringback tunes	25,556	90%	2,234	86%
	シングルトラック	28,454	84%	9,754	83%
	音楽ビデオ	1,760	107%	681	107%
	その他	535	306%	268	166%
	合計	79,380	80%	15,231	81%
その他	サブスクリプション（インターネット）			108	94%
	サブスクリプション（モバイル）			75	83%
	その他（その他のデジタル音楽コンテンツ）	421	1455%	118	98%
総合計		94,248	85%	18,637	87%

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2011年1月～2011年6月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
インターネットダウンロード	シングルトラック	25,979	124%	3,741	121%
	アルバム	1,659	122%	1,908	117%
	小計（オーディオダウンロード分）	27,638	124%	5,650	120%
	音楽ビデオ	1,295	139%	332	119%
	その他	1	116900%	1	-
	合計	28,935	125%	5,983	120%
モバイル	Ringtunes	49,374	71%	4,948	69%
	Ringback tunes	53,327	94%	4,653	91%
	シングルトラック	57,915	84%	19,934	83%
	音楽ビデオ	3,481	98%	1,370	103%
	その他	1,149	320%	552	160%
	合計	165,245	83%	31,457	83%
その他	サブスクリプション（インターネット）			182	69%
	サブスクリプション（モバイル）			153	85%
	その他（その他のデジタル音楽コンテンツ）	1,840	2096%	199	90%
総合計		196,020	88%	37,974	87%

注：数量…ダウンロード回数

Monthly Production Report

2011年7月度レコード生産実績

7月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比 81% の 1,967 万枚・巻、金額で同 77% の 209 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 80% の 1,614 万枚・巻、金額で同 80% の 170 億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比 85% の 352 万枚・巻、金額で同 65% の 39 億円となった。

この結果、2011年1月～7月の累計では、音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年比 101% の 1 億 4,469 万枚・巻、金額で 102% の 1,614 億円となった。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			7月実績						2011年1月～2011年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	340	2	6260%	26	0	895%	367	0	1087%	42	0	236%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	-10	-	-	-1	-	-
		計	340	2	6147%	26	0	875%	357	0	1048%	41	0	228%
ン	12cmCD	邦	5,089	32	103%	3,950	23	114%	31,493	28	112%	22,012	18	104%
		洋	22	0	47%	14	0	37%	936	1	675%	651	1	635%
		計	5,111	32	102%	3,964	23	114%	32,429	29	115%	22,663	19	107%
ル	小計	邦	5,430	34	110%	3,976	23	115%	31,860	29	113%	22,054	18	104%
		洋	22	0	47%	14	0	37%	926	1	666%	650	1	633%
		計	5,452	34	109%	3,991	24	114%	32,787	30	116%	22,704	19	107%
12cmCD アルバム	邦	8,106	50	66%	10,021	59	68%	56,633	51	87%	74,812	63	91%	
	洋	2,312	14	83%	2,591	15	97%	19,564	18	88%	20,074	17	92%	
	計	10,418	65	70%	12,612	74	72%	76,198	69	87%	94,885	79	91%	
CD 合計	邦	13,536	84	79%	13,997	83	77%	88,494	80	95%	96,866	81	93%	
	洋	2,334	14	83%	2,605	15	96%	20,491	19	92%	20,724	17	95%	
	計	15,870	98	79%	16,602	98	79%	108,984	98	94%	117,590	98	94%	
アナログ ディスク	邦	62	0	1205%	108	1	1294%	99	0	312%	162	0	291%	
	洋	2	0	75%	3	0	56%	35	0	132%	62	0	145%	
	計	64	0	776%	111	1	835%	134	0	230%	224	0	227%	
カセット テープ	邦	147	1	75%	113	1	72%	1,292	1	74%	1,017	1	73%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	147	1	75%	113	1	72%	1,292	1	74%	1,017	1	73%	
その他	邦	18	0	122%	20	0	104%	94	0	93%	113	0	105%	
	洋	44	0	445%	108	1	884%	251	0	255%	503	0	374%	
	計	61	0	252%	129	1	406%	345	0	173%	615	1	254%	
合計	邦	13,763	85	79%	14,239	84	77%	89,979	81	94%	98,158	82	93%	
	洋	2,380	15	84%	2,716	16	100%	20,777	19	93%	21,289	18	97%	
	計	16,143	100	80%	16,955	100	80%	110,756	100	94%	119,447	100	94%	

● 音楽ビデオ

			7月実績						2011年1月～2011年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,270	93	85%	3,379	86	62%	30,258	89	129%	35,862	85	127%	
	洋	177	5	83%	227	6	72%	2,564	8	109%	3,098	7	138%	
	計	3,447	98	85%	3,606	92	63%	32,822	97	128%	38,960	93	128%	
テープ・その他			78	2	108%	331	8	106%	1,114	3	473%	3,012	7	336%
合計	邦	3,339	95	85%	3,687	94	64%	31,315	92	133%	38,701	92	133%	
	洋	186	5	85%	250	6	75%	2,622	8	109%	3,271	8	134%	
	計	3,525	100	85%	3,937	100	65%	33,937	100	131%	41,973	100	134%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			7月実績						2011年1月～2011年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			16,143	82	80%	16,955	81	80%	110,756	77	94%	119,447	74	94%
音楽ビデオ			3,525	18	85%	3,937	19	65%	33,937	23	131%	41,973	26	134%
合計			19,668	100	81%	20,892	100	77%	144,692	100	101%	161,420	100	102%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			7月実績						2011年1月～2011年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			7,263	89	87%	11,085	82	71%	61,323	90	121%	93,015	84	106%
テープ・その他			920	11	122%	2,450	18	114%	6,475	10	160%	17,794	16	130%
合計			8,183	100	90%	13,534	100	76%	67,798	100	124%	110,809	100	109%

● オーディオ/ビデオ合計

			7月実績						2011年1月～2011年7月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			16,143	66	80%	16,955	56	80%	110,756	62	94%	119,447	52	94%
ビデオ			8,183	34	90%	13,534	44	76%	67,798	38	124%	110,809	48	109%
合計			24,326	100	83%	30,490	100	78%	178,554	100	104%	230,256	100	101%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● トリプル・プラチナ

Beautiful World	嵐	2011.07.06	JA
-----------------	---	------------	----

● ダブル・プラチナ

MUSICMAN	桑田 佳祐	2011.02.23	V
----------	-------	------------	---

● プラチナ

どーも	小田 和正	2011.04.20	BV
YOU	JUJU	2011.07.13	AI
湘南乃風〜Single Best〜	湘南乃風	2011.06.15	TF
C'mon	B'z	2011.07.27	BG

● ゴールド

Today Is A Beautiful Day	supercell	2011.03.16	SR
--------------------------	-----------	------------	----

シングル

● プラチナ

パレオはエメラルド	SKE48	2011.07.27	AMI
絶滅黒髪少女	NMB48	2011.07.20	YRC
マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	2011.07.13	UM
波乗りかき水	Not yet	2011.07.06	C
Flower	前田 敦子	2011.06.22	K

● ゴールド

NAKED / Fight Together / Tempest	安室 奈美恵	2011.07.27	AMI
ふいに	板野 友美	2011.07.13	K
Superstar	東方神起	2011.07.20	AMI

ビデオ

● ダブル・プラチナ

AKBがいっぱい〜ザ・ベスト・ミュージックビデオ〜	AKB48	2011.06.24	AKS
---------------------------	-------	------------	-----

● ゴールド

KinKi Kids 2010-2011 〜君も堂本FAMILY〜	KinKi Kids	2011.07.27	JE
-----------------------------------	------------	------------	----

洋楽

アルバム

● ミリオン

ザ・フェイム	レディー・ガガ	2009.05.20	UM
--------	---------	------------	----

シングル

● プラチナ

KARA BEST CLIP	KARA	2011.02.23	UM
----------------	------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, 着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AI: ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ / AKS: AKS/AMI: エイベックス・マーケティング / BG: ビーグラムレコーズ / BM: パーミリオンレコード / BV: アリオラジャパン / C: 日本コロムビア / ES: EPIC レコードジャパン / JA: ジェイ・ストーム / JE: ジャニーズ・エンタテインメント / K: キングレコード / PC: ポニーキャニオン / SE: エスエムイーレコーズ / SR: ソニー・ミュージックレコーズ / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズファクトリー / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン / YRC: よしもとアール・アンド・シー

有料音楽配信(「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	2011.04.24	UM
--------------	--------------	------------	----

● ダブル・プラチナ

また明日…	JUJU	2011.05.11	AI
-------	------	------------	----

「着うたフル®」

邦楽

● トリプル・プラチナ

愛をこめて花束を	Superfly	2008.01.16	WJ
----------	----------	------------	----

● ダブル・プラチナ

マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	2011.05.14	UM
--------------	--------------	------------	----

● プラチナ

Last Love	加藤 ミリヤ	2010.06.09	SR
It's all Love!	倭田来未× misono	2009.03.18	AMI
Cagayake! GIRLS	桜高軽音部 [平沢唯・秋山澪・田井中律・琴吹紬 (CV: 豊崎愛生、日笠陽子、佐藤聡美、寿美菜子)]	2009.04.22	PC
MR.TAXI	少女時代	2011.04.26	UM
タマシイレボリューション	Superfly	2010.06.18	WJ

● ゴールド

Fight Together	安室 奈美恵	2011.07.13	AMI
卒業	尾崎 豊	2009.04.25	SR
Altair ~キミと出逢えたこと~	少年カミカゼ	2007.07.25	V
Only Holy Story	Steady&Co.	2009.11.16	WJ
恋する瞳は美しい	Superfly	2009.07.22	WJ
SWORD SUMMIT	T.M.Revolution	2010.08.11	ES

Brave	ナオト・インティライミ	2011.04.13	UM
三線の花	BEGIN	2006.11.01	TE
もう一度キスしたかった	B'z	2005.01.25	BM
愛のままにわがままに 僕は君だけを傷つけない	B'z	2005.01.13	BM
ハネウマライダー	ポルノグラフィティ	2007.11.21	SE
chAngE	miwa	2010.09.01	SR

洋楽

● プラチナ

ジェットコースターラブ	KARA	2011.03.16	UM
マイルズ・アウェイ	マドンナ	2008.05.19	WJ
テレフォン feat. ビヨンセ	レディー・ガガ	2009.11.25	UM
ボーカー・フェイス (LLG VS GLG ラジオ・ミックス)	レディー・ガガ	2010.10.13	UM

● ゴールド

GO GO サマー!	KARA	2011.06.22	UM
ジューダス	レディー・ガガ	2011.05.11	UM

「PC 配信 (シングル)」

邦楽

● トリプル・プラチナ

キセキ	GReeeeN	2008.06.04	UM
-----	---------	------------	----

● プラチナ

Beginner	AKB48	2010.10.20	K
----------	-------	------------	---

● ゴールド

マル・マル・モリ・モリ!	薫と友樹、たまにムック。	2011.05.14	UM
MR.TAXI	少女時代	2011.04.26	UM

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会の公式サイトがスマートフォン（iPhone、Android携帯）向けに対応を開始しました。

ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.riaj.or.jp/>

iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
Androidは、Google Inc.の商標です。



「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーン2010
キャラクター部門グランプリ授賞作品
音めちゃん

THE RECORD No.622 2011年9月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 北川 直樹
編集人 田口 幸太郎
発行日 2011年9月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

1877年にエジソンが蓄音機を発明し、人類は音を記録する術を得ました。その人類最初の録音は、エジソン自身による「メリーさんの羊」であったことは有名な話です。

「音を蓄える機械」という「蓄音機」は、当時はまさに魔法の玉手箱の様な存在だったのでしょか。

余談ですが、幼少の頃、カセットテープに録音した自分の声を生まれて初めて聞いた時の、何とも言えない違和感を思い出してしまいました。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。